



1回生のみなさん、未来看護塾へようこそ！

たくさんの1回生が入塾してくれて、とても嬉しいです。

楽しくて親しみやすい先輩達ばかりなので、すぐに仲良くなれると思います。

いろんな場所での活動があり、様々なことが体験できるので、どんどん参加して下さいね。

1回生から3回生まで、全員で未来看護塾の活動を盛り上げていきましょう！

☆未来看護塾の紹介☆

私たち未来看護塾は、現在約50人の人間看護学部生で構成されており、地域で生活する人々や、医療現場で働く看護職、ボランティアの方々との活動や交流を通して、『未来の看護のあり方』について考えることを目的として活動しています。通常の活動として、彦根市立病院の小児科病棟・緩和ケア病棟、NPO法人ぽぽハウスでの活動を行っています。

また、この「みかん通信」は、メンバーがそれぞれ活動したことで得た学びを共有するための情報交換紙として発行しています。

春休みの活動紹介♪

ぽぽハウスクッキング講座(2月26日)

今回はお鍋で炊き込みご飯を作りました。みんなお鍋で作るのは初めてで材料を前に調理開始前からわくわくしているのが伝わってきました。包丁を使うシーンが多くけがをしないか心配でしたが最後まで楽しく安全に調理をすることができました。とってもとってもおいしい炊き込みご飯を作ることができました。



グランドソフトボール（3月6日）

西今町の県立盲学校で滋賀県視覚障がい者グランドソフトボールチーム「SHIGA フェニックス」の方の指導のもと、「グランドソフトボール交流会」が開かれました。

グランドソフトボールは「弱視」や「全盲」など、視覚障がいのある方と一緒に楽しめる球技です。

弱視や全盲でありながら、ソフトボールが地面を転がる音をたよりに、バットでボールを打ったり、転がってきたボールをキャッチしたりする様子に驚きました。

私たちは、練習や試合を通して「目が見えない」ことを体験し、理解を深めました。



びわこ毎日マラソン（3月6日）

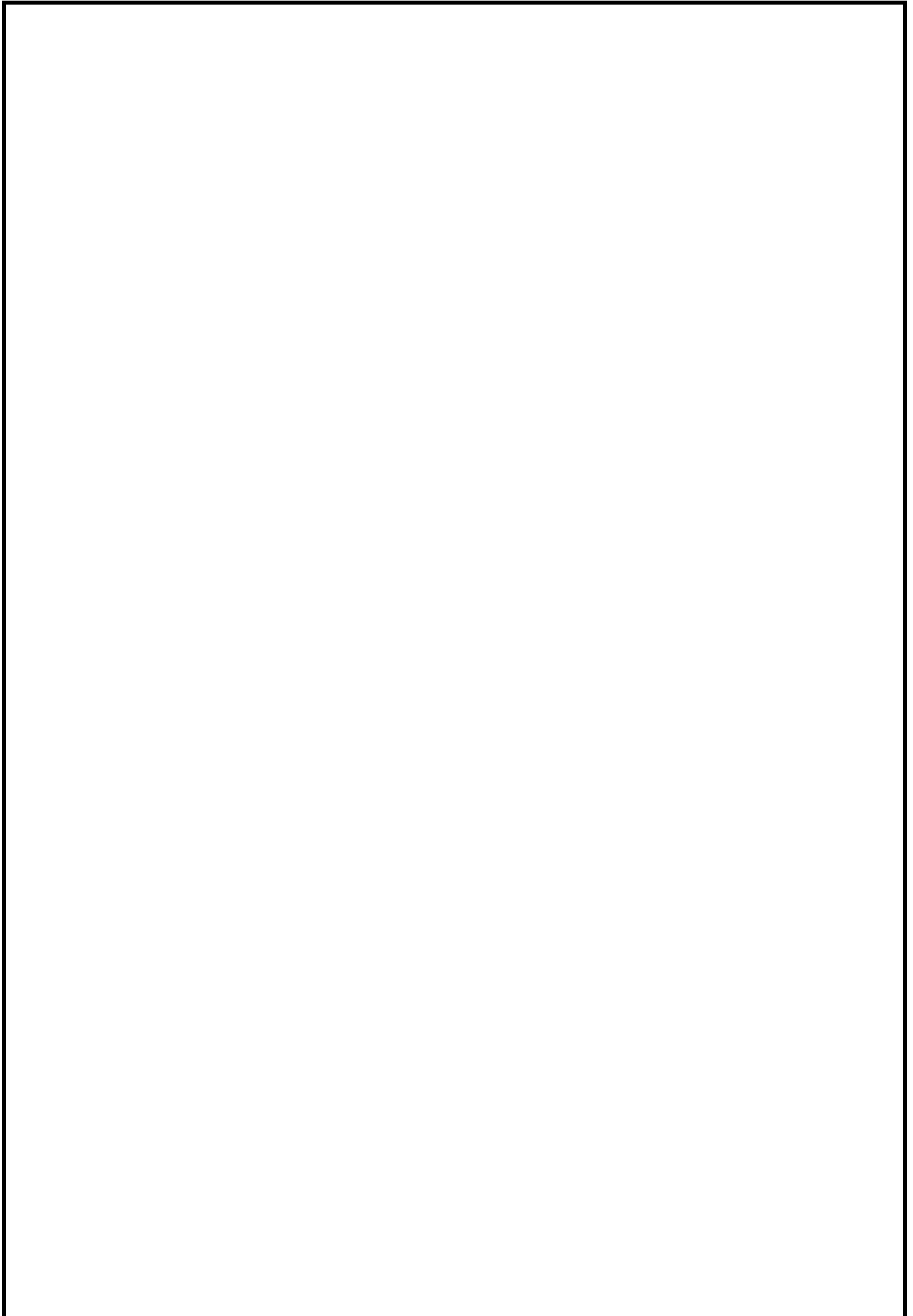
ちびっこ広場ではアートバルーン、割り箸鉄砲をしました。

用意していたバルーンがなくなるほどの大盛況ぶり♪

びわこ毎日マラソンの隣接ブースでのちびっこ広場の出店。彦根から出た地域で行うのが新鮮でした。

★アートバルーンのお花は大人気でした！みんなが作れるともっと多くの人に喜んでもらえるので作れるように練習しましょう♪







5月の活動の振り返りです。

はばたき1周年祭（5月7日）

- ・ 障がいを持っている子ども達と初めて接する機会を持ちました。話しかけても反応が返ってこないということも多く、自分の思いが伝わっているのか分からず、すごく不安になりました。でも、その分反応してくれた時、特に笑顔を見せてくれた時は本当に嬉しい気持ちになりました。（1回生）
- ・ 戸惑いと緊張で初めは何をしたらいいのかわかりませんでした。はばたきの子は皆とても元気で、話しかけてくれて、私がたくさん元気をもらいました。（1回生）
- ・ 一人一人が抱えている障がいの重さや種類が違うので、一人一人の子どもたちのことをもっとよく知って、理解していきたいと思いました。（1回生）
- ・ 心を開いて笑顔で接することが大切だと思いました。もっと積極的に声かけをしていけるように、次も頑張りたいです。（1回生）
- ・ 初めはとても緊張したけど、慣れてくると一緒に話していてとても楽しかったです。でも、何て言葉を返したらいいのか、どのように行動したらいいのかわからないこともありました。しっかりコミュニケーションをとれるようにしたいです。（1回生）



彦根市立病院親睦会（5月11）

彦根市立病院でたねやのケーキを食べながら、病院の医師・看護師さんとの親睦会がありました。そこで未来看護塾の活動に対しての感謝状をいただきました。これからも彦根市立病院での活動を頑張っていきましょう！

ボーリング大会 ぽぽハウス(5月21日)

- ・子供たちが楽しく、安全にボーリングすることができて良かったと思います。昼食づくりもみんなで協力して作ることができました。

これからはもっと「どういうことが楽しいか」を考えて、行動していきたいと思う。(1回生)

- ・みんなと仲良くなれて、ボーリングも楽しくできました！積極的に自分から話せだし、子供たちが近寄ってきて遊びに誘ってくれてすごうれしかったです。

危険な場面があったので、次回からはそのようなことがないようにしたいです。(2回生)

- ・一人一人のボランティアがつけて、一緒に楽しむことができて充実してました。

子どものペースをくずすことなく、一緒に作業することの難しさを実感しました。(3回生)



夏湖風祭について

日時：6月18日(土) 11:00~17:00

内容：しゃてき、輪投げ、アートバルーン、シャボン玉

今年も夏湖風祭の季節がやってきましたね♪

みんなでちびっこ広場を盛り上げましょう！

6・7月の予定

6月4日(土) ボーリング大会(ぽぽ)

5日(日) 東日本大震災復興支援バザー

場所/長浜小学校体育館 時間/9:00~17:00

18日(土) 夏湖風祭

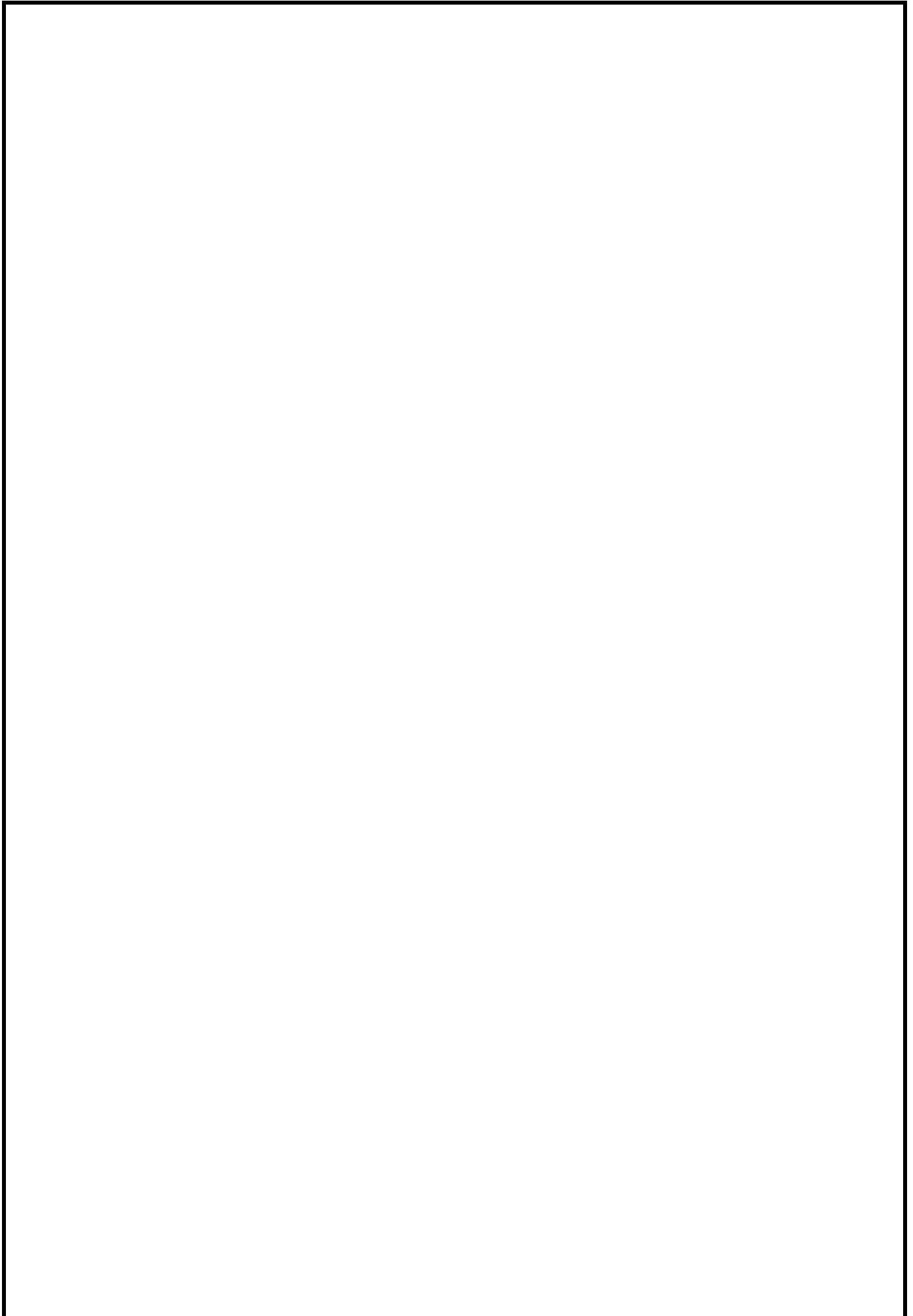
25日(土) でんしゃに乗って長浜へ出発進行！(ぽぽ)

時間/9:30~15:00

7月2日(土) でんしゃに乗って長浜へ出発進行！(ぽぽ)

時間/9:30~15:00







6月の活動の振り返りです☆

ボーリング大会 (6月4日)

ラピュタボウルでボーリングをして、その後お好み焼きを一緒に作りました。ボーリングはみんなすぐにコツをつかんで、私たちよりも上手でした。お好み焼き作りもみんな協力的で、おいしいお好み焼きが作れました。ボーリングも、お好み焼き作りも、みんな楽しそうで、私たちも一緒に楽しめました。



東日本大震災復興支援バザー(6月5日)

長浜小学校で、東日本大震災復興支援バザーに参加してきました。私たち以外にもたくさんのボランティアの方や他の団体さんが参加されており、幅広い年齢の方との交流ができました。この復興支援バザーでの売り上げは、全て義援金として被災地に送られましたが、1日で49万円集まったそうです！

【感想】(3回生)

- ・ いろんなボランティア団体の人達と交流がもてて、話も聞けて良かった。参加者の割にスタッフの人数が多すぎて、することがない状況が多かったと思う。子ども達もたくさんいたので、ちびっこ広場を出したかったなと思った。
- ・ 1回生も含め、もう少しみんなでそろった行動ができれば良かったなと思いました。
- ・ 被災地へのメッセージを書いている小学生を見ていたら、「笑顔を忘れずに」や「希望はあります」などと書いていて、小さくても今の日本の現状を受け止めているのだなと感じた。
- ・ 飲食のブースのお手伝いでは、衛生面への配慮が不十分だと思った。マスクや手袋など何もなかったので、私たちも行く前から担当がわかっていたので、何か用意していけば良かったかもしれない。飲食ブース担当だった人は割と忙しく、もう少しスムーズに順番にお昼休憩が取れた方が良かったと思う。



夏湖風祭（6月18日）

当日は朝から雨が降っていましたが、それでもたくさんのちびっこが遊びに来てくれました！

【感想】（1回生）

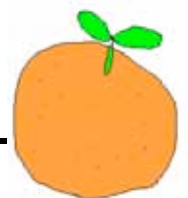
- ・ 今回の夏湖風祭を通して、たくさんの人とふれ合うことが出来ました。特に普段接することが少ない、地域の子ども達や、そのご家族の方々とのふれあいは新鮮でした。
- ・ 輪投げの担当をしていて驚いたことは、小学生くらいの女の子が「輪投げの輪の色と入れる場所の色を合わせるの？」と聞いてくれたことです。そこまで考えているんだなぁと思いました。輪投げの距離を年齢によって少し近づけたり遠ざけたりはしましたが、発達段階に合わせてルールを作ってやってみようと、より楽しんでもらえるかなと思いました。
- ・ 朝の準備の段階から何をどういう風に準備したら良いかわからず、初めは手もちぶさたな状態で何か早く手伝わなければという思いでいっぱいでした。でも、先輩方にテントの組み立て方など、一から教わることができたので、自分のやるべきことを見つけることができました。しかし、そうは言っても、先輩方に結局は任せることになってしまうこともあって、振り返ると全然手伝うことができなかったなぁと反省しています。でも、今回あまり自分が走り回って動くことができなかったけれど、何をどうやって準備し、片付けたらよいか、先輩方の動きを見て教わることができて、少しは要領が分かったように思います。今回は先輩方に指示をもらって自分が動くという状態だったけれど、次回からは今回の要領を思い出して、自分からどんどんやるべき事を見つけて積極的に動いていけたらいいなと思います。

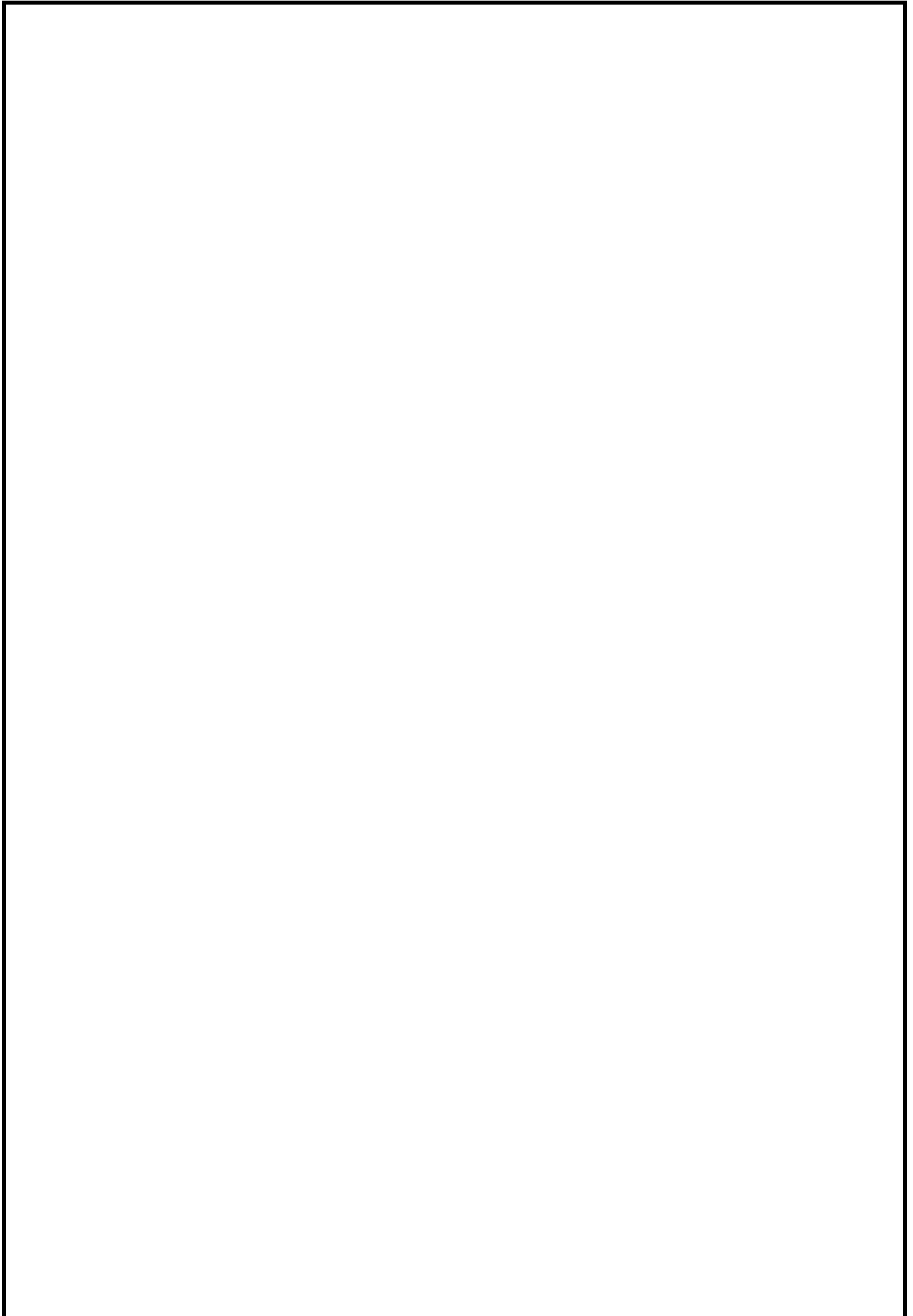


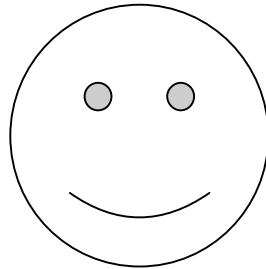
7月の予定

7月2日（土） でんしゃに乗って長浜へ出発進行！（ぽぽ）

時間/9：30～15：0







6・7・8・9月の活動の
振り返りです♪

◎6月25日 7月2日

ぽぽ でんしゃに乗って長浜へ出発進行！

ぽぽハウスのはばたきの子ども達と南彦根から切符を買って長浜まで電車に乗って行ってきました。子ども達も切符を買うのに挑戦し、うまくいかない子もいたけれど、いい経験になったと思います。長浜に到着して、自分たちで事前に調べていたお店にそれぞれ向かい、お昼ご飯を食べました。その後は、長浜にある商店街の散策や、鉄道スクエアや海洋堂フィギュアミュージアムという博物館、長浜城などの見学をしてきました。

帰りの電車の中では疲れてウトウトしている子もいて充実した1日になったと思います。

【感想】

- ・子どもたちの自信につながるように最小限の手伝いをするのが大事だと思った。
- ・できないことを「できないから手伝ってほしい」と周りの人に伝えられるようにできるような声かけが必要だと感じた。

◎8月6日・7日

滋賀県立大学オープンキャンパス



手洗い指導、食事援助、足浴、体位変換、血圧のしくみの説明と血圧測定を行いました。手洗い指導は学生が前に立って実施し、緊張したけれど、みなさん一生懸命きいてくれました。足浴はゆったりとした空間で会話をし、リラックスしてもらえました。来年たくさんの方が看護学部に来てくれると嬉しいです！

◎8月16日

中学会体験活動 竹炭作り&バーベキュー

野瀬町の中学生と朝から竹炭を作り、作った竹炭で楽しくバーベキュー！夕立で中断するというハプ

ニングもありつつ… みんな笑顔でおなかいっぱいになりました。

◎8月21日
野瀬町地藏盆



野瀬町会館で子どもたちと手作りのプレートを作ったり、お地藏さんにお参りに行ったりしました。未来看護塾からは、射的やアートバルーンで遊んでもらったりしました。お昼には町の人が準備してくださった竹を使った流しそうめんをいただきました。お昼からは子どもたちと折り紙やじゃんけん大会をして盛り上がりました。子どもたちが楽しそうに過ごしてくれてよかったと思います。

◎9月2日
彦根市立病院親睦会

彦根市立病院でたねやのケーキを食べながら、病院の医師、看護師さんとの親睦会がありました。これからも彦根市立病院での活動を頑張っていきましょう！

◎9月25日
彦根いきいきフェア in 滋賀県立大学

滋賀県立大学の交流センター前の広場と交流センター内で、シニア体験や手話による劇など福祉に関係する様々な催し物がありました。ほかにも模擬店などもあり、賑わっていました。未来看護塾では、交流センター内のちびっこ広場でアートバルーンとさかなつりと輪投げをしました。たくさん子どもたちが集まってくれました。それから、イベントに来てくださった地域の方々と触れ合いながら血圧測定をしました。

◎10・11月の予定

- 11月5日(土) 近江楽座の一姓さんとのコラボで、県大共同ファームでぼぼハウスの子どもたちと一緒にさつまいも掘りをします。
- 11月12日13日(土・日) 湖風祭！ちびっこ広場やります。内容は、アートバルーン・射的・さかな釣り・シャボン玉です。みんな、頑張ってお練習しときましょう！
- 11月19日(土) 長浜市にある長浜図書館で図書館まつりが開催されます。その中で、ちびっこ広場を行います。参加者は8人です。
- 11月26日(土) ぼぼハッピー祭りがハピネスひこねで開催されます。各ブースのお手伝いや、未来看護塾で射的を行います。

11月はイベント盛りだくさんなので、みなさん是非参加して下さい！お願いします。

お待たせしました！10・11・12月の活動の振り返りです**

◎10月8日

ぽぽ 敬老会



ぽぽのスタッフさんによるマルモリ体操、地域の方によるバンド演奏、ぽぽの子どもたちによるゲームコーナーで敬老の日をお祝いしました。子どもたちもおじいちゃんおばあちゃんに喜んでもらえて嬉しそうでした。

◎11月5日

近江楽座の一姓さん×未来看護塾×ぽぽハウス 県大共同ファームでの芋掘り



現在、未来看護塾の中から5人の学生がぽぽハウスで行われている『はばたけ!チャレンジャー!』(広域的な活動拠点整備事業)という事業にスタッフとして参加しています。その中の第2回の活動で芋掘りをしました。近江楽座 一姓 で育てられた芋を子どもたちは夢中になって掘っていました。この芋はその後の活動でおいしく頂きました♪

◎11月12・13日

滋賀県立大学湖風祭 ちびっこ広場

射的・魚釣り・しゃぼん玉・アートバルーンのブースをだしました。中でもアートバルーンは大人気でした。2日間たくさんの子どもたちが来てくれ、笑顔がいっぱいみることができたので、わたしたちも楽しむことができました。





◎11月19日

長浜図書館 図書館まつり

この日は雨が降り悪天候でしたが、皆さんの協力で無事にすることができました。射的、魚釣り、アートバルーンをして、子どもたちの楽しそうな笑顔に癒されました。寒い中たくさん子どもたちが来てくれました。

◎11月26日

ぽぽハッピー祭り



ぽぽのこどもたちや高齢者の方、地域の方などたくさんの方が参加しました。イベントブースではよさこいや、ぽぽのこどもたちによるハンドベルの発表がありました。2階のブースではヨーヨー釣り・魚釣り・わなげ・工作のコーナーがあり、未来看護からは射的のブースをだしました。ほかにも出店や抽選会があり、盛りだくさんでお祭りはとても盛り上がりました！

◎12月17日

彦根市立病院 クリスマス会



1回生は紙芝居、2回生はハンドベルをしました。患者さんをはじめ、ご家族の方、看護師さんなどいろいろな人が見に来て下さいました。緊張しましたがみんなで歌をうたって楽しい時間が過ごせました。サンタさんを見る子どもたちの嬉しそうな笑顔がとても印象的でした。

2月・3月の活動の報告です**

◎2月18日 ぽぽハウス おでん作り

この日はぽぽハウスの子どもたちと調理体験をしました。メニューはおでんと炊き込みご飯です。具材を切ったり、お米を研いだり、器具をうまく使えない子もいれば、上手に使いこなす子もいたりといういろいろですが子どもたちはみんな自分のできることを一生懸命取り組んでいました。

私たちも子どもたちと一緒に手伝いながら調理しておいしく仕上げることができました。自分で調理して食べることは調理の経験をするだけでなくよりおいしく食べられるという喜びも得られるのだと感じました。

◎3月10日 彦根市立病院 健康講座

今日は彦根市立病院で健康講座というイベントが行われました。そのイベントに参加されるお母さん方が小さなお子さんを預けておけるように子どもたちの遊び場を提供する「ちびっこ広場」という形でこのイベントをお手伝いさせていただきました。

赤ちゃんから幼稚園くらいの年の子どもたちが遊びにやってくる自分の好きなコーナーで遊んでいました。



◎アートバルーンのコーナー
おはな・うさぎ・いぬ・剣「つくってつくって～」と大人気でした。



◎さかなつりのコーナー
磁石が魚の口についているクリップにくっつく仕組み。ちょっと難しいこもいたけれど夢中になって遊んでいました。



◎わなげのコーナー

たくさん輪がはいた子にはお菓子の景品！
真剣に選んでいます。



◎しゃてきのコーナー

わりばしで作ったしゃてきに輪ゴムを引っ掛け紙
コップの的をねらいます。

輪ゴムを引っ掛けけるのが難しい子はわたしたち
に「輪ゴムをかけてください」とお行儀よくお願いし
てくれました。

子どもたちがたのしんで過ごしてくれていたのがよかったです。

また、お母さんがたに健康講座をされていた小児科の先生がこういった託児所のような場所は他の講演をするときにもあるけれど子どもたちが部屋からでていってしまうことが多い。今回はそのような子がほとんどいなくてお母さん方も健康講座に集中できたと思う。それだけ子どもたちがたのしく過ごしていたということ。というような話をしてくださいました。

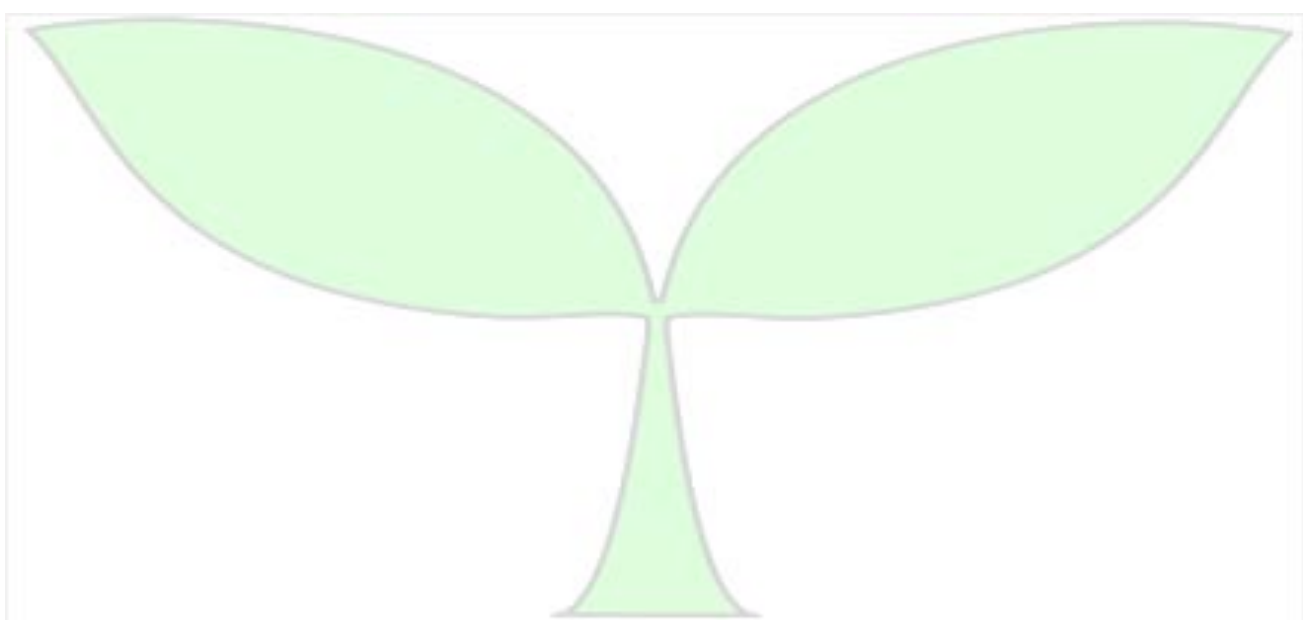
今回のちびっこ広場は大成功だったのかな、と思います。

◎3月10日 「はばたけ！チャレンジャー！」活動報告会

「子どもは生活体験・社会体験を積み重ねることで力がつき、その子なりの成長をはかることができる。実社会の中にある公共機関・施設や企業を利用して生活体験をし、社会の人と関わることで活動を通して子どもが育つ様子を見つめたい。また、その姿を伝えることで障がい児童への理解者を地域で一人でも増やしたい。」（ぽぽだより No112 2011年9月25日発行 より引用）

NPO 法人ぽぽハウスでモデル事業として障がいのある子どもたちがさまざまな体験をして力を伸ばしていくというプログラムを去年の10月から今年の3月にかけて行っていました。未来看護塾の学生も5名がこの活動に参加していました。この活動では約半年間1人の児童を担当して関わるというもので、関わりがより深まり私たちにとってもとてもいい経験になりました。

つつい困っている児童に手を貸そうとしてしまうけれど、その困っていることを児童自身が受け止めどうして行けばいいのかを自分で決める、ということが今後のその子のために大切なことだということ学びました。そして、その困っていることを周りの人にアピールしてわかってもらうことで暮らしやすい社会になるのだとわかりました。



未 來 看 護 塾

◎2月20～24日 南三陸町歌津田の浦での活動

今回、未来看護塾の学生は環境学部の鶴飼先生と院生の方々を中心に開催されている南三陸町での支援活動に同行させていただき、そこで『田の浦ワカメまつり』を行いました。

被災地に近づくにつれてテレビや新聞で見た被災地の光景を目の当たりにしました。実際にその光景をみて、地震や津波の被害の大きさを実感することができました。それと同時に少しずつ復興が進んでいるいまの姿も見ることができました。

到着して一日目は田の浦の集会所として使われている仮設住宅でお昼を食べました。その場所は滋賀県立大学の学生による「ほたてあかり」というプロジェクトで行われているホタテの貝殻を利用したキャンドル作りの田の浦のおかあさん方の作業場所になっていました。

その後は周辺を歩いて見て回りました。もともとは漁業がさかんな地区なのですが今はがれきの撤去作業が行われていて漁港にはがれきの山ができていました。しかし沖合のほうではワカメの養殖が行われている場所もみえました。他にも地域の方々と道ですれ違い地震のときの話などを聞かせてもらいました。そのあとは、翌日に行われる「ワカメまつり」の準備をしました。

そして夕方ごろには地域の方々のお宅に分宿させていただきました。このようにボランティアでやってきた人を泊めるという試みははじめてということで緊張しましたがそれぞれのお宅で暖かく出迎えてもらいほんとうに感謝しています。

翌朝は学生の一部がワカメ漁に行ってきました。このワカメを田の浦ワカメまつりでふるまう伊丹スープに使いました。

ワカメまつりでは伊丹スープ（未来看護塾の顧問の先生特製のスープを田の浦のワカメを使って作りました）の他に足浴、手浴、健康体操を通して来てくださった人たちと交流を深めました。また、マルモリ体操を披露したり、人間文化学部の細間先生は自作の「ホタテ節」を演奏しました。マルモリ体操は一緒に踊ってたのしんでもらえました。ホタテ節の演奏では涙ぐんで聞く人もいました。

田の浦での滞在もあっと言う間に過ぎてしまいましたが、被災地の様子や田の浦の人の元気な姿、貴重なお話など充実した滞在になりました。この交流をきっかけに今後も田の浦の方とまた交流を続けていきたいと思いました。田の浦に行く前は、私たちはなにかをしなければいけないんだという思いが強かったように思います。しかし終わってみて思うことは、一緒に過ごし楽しみ、また次につながることの大切さです。今回の貴重な経験を今後の未来看護塾の活動に活かしていきたいと思いました。

田の浦のみなさん、同行してくださった先生方、ありがとうございました。



ほたてあかりのキャンドル



伊丹スープを配っているところ



手浴・足浴中



マルモリ体操中

